

令和 2 年度  
北尾自治会総会

**元気・絆・安全**  
**みんな大好き住みよい北尾**



**令和の大事業**

『北尾祭礼山車の修復工事』

内容：裏面参照

※1口5,000円以上のご芳志をお願いします！

私たちの北尾祭礼山車＝大府市指定文化財は

歴史的、文化的にも大いに誇れる北尾の宝

( 由緒・特徴は裏面参照 )

と き 令和 2 年 5 月 16 ( 土 ) 午前 10 時  
と ころ 北尾公会堂

北尾自治会ホームページ

<http://goo.gl/5ty0GF>



北尾自治会 Facebook ページ

<https://goo.gl/AThbIm>

## 令和の大事業 『北尾祭礼山車の修復工事』

総費用＝1,600万円余

第1期；令和2年5月～令和4年2月・・・1,160万円

第2期；令和5年5月～令和7年2月・・・・・・450万円

### 予算計画

国の補助金＝800万円

市の補助金＝300～400万円

地元負担金＝400～500万円

★内300万円以上を自治会員からの寄附金で賄う

**寄附金募集** 目標額 400万円以上

※1口5,000円以上のご芳志をお願いします！

### 北尾祭礼山車の由緒・特徴

古来、北尾村の人々は藤井大明神（藤井神社）の氏子として、山車壹両・飾馬1頭を八月朔日（はっさく）祭りの例祭に奉納していた。山車は寛政12年（西暦1800年）の制作となっており、知多半島に現存する最古の山車の一つである。藤井神社の例祭に奉納するしきたりは何年に生まれたかは不明だがかなり古くからと思われる。これは明治初期、神仏分離の令を機会になくなった。

今では、山車は10月第2土曜日及び日曜日に行われる山之神社の例祭に奉納されている。誠に豪華絢爛な山車で、高欄、手高欄は豪華で高価な螺鈿装飾や彫金金具が多く施され、また重厚な組物の中に金箔彫刻、素木彫刻が所狭しとつけられている。それだけに、これの制作・維持管理は苦労が多かったようだ。

安政5年（1858年）の大修理には、金九十両壹朱と銀四文五分を費やした。この内の金五拾両は村中の寄進。残金は御普請金の金式拾二両壹朱と銀十五文を村中肉体労働の奉仕で勤め、なお不足分については村中相談の上、村所有の土地を入札で売り、彫刻は残らず修理されたといわれている。